

第35回牛乳販売店優良事例発表会

主催：(一社)全国牛乳流通改善協会 後援：(一社)Jミルク



第35回牛乳販売店優良事例発表会受賞者(前列)

第35回牛乳販売店優良事例 受賞店一覧 (敬称略)

- | | | |
|---|---|--|
| 最優秀賞 農林水産大臣賞
埼玉県 株式会社小針乳業
小林 正明 | 優秀賞 農林水産省畜産局長賞
新潟県 かわだ商事株式会社
川田 泰基 | 優秀賞 Jミルク会長賞
神奈川県 小岩井牛乳
横浜ミルクセンター
北嶋 克悦 |
| 優秀賞 全国牛乳流通改善協会会長賞
栃木県 有限会社田中商店
田中 俊光 | 大阪府 株式会社BHC CORPORATION
ビッグヘルスケア
武内 孝壽 | 宮城県 株式会社TENPO計画
森永ミルクファーム
高井 秀樹 |
| 三重県 有限会社草河乳業
草河 伸一 | 大阪府 有限会社みみるくらぶ
長谷川 泰吉 | |

発表内容をwebで!

「牛乳販売店優良事例発表会」の概要がwebで見られます

今回の「牛乳販売店優良事例発表会」の発表内容については、報告文章とともに会場での発表の様子がweb上で動画ですべて見られるよう準備をしています。

キーワードによる検索で各受賞店の具体的な取り組み内容を読むことができたり、当日の発表内容の動画を見ることができたりと、webの自由度を活かした報告ページとなります。また、第31回以降の発表の様子も公開されております。ご覧いただき、ご参考になさってください。報告ページのurlは

https://zenkaikyou.or.jp/yuuryoujirei_35th/index.html

です。ぜひご覧ください。(パソコン、タブレット、スマホから閲覧可能です。これが見られない環境の方は、各マーク協のご担当者に、紙へのプリントアウトをご依頼されるようお願いいたします。)



第35回牛乳販売店優良事例発表会

埼玉県 株式会社小針乳業が最優秀賞 農林水産大臣賞を受賞

「牛乳販売店の従来からのあり方を変えたい」―次世代型宅配―

令和6年2月16日(金)、一般社団法人全国牛乳流通改善協会主催の第35回牛乳販売店優良事例発表会が、東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷にて開催されました。本年度は、全国のマーク協を通じて選ばれた8店の全改協の加盟店が、それぞれのお店の特徴的な取り組みを発表しました。

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-2ウインド西神田ビル502
発行所 一般社団法人全国牛乳流通改善協会
TEL.03-6380-8021
FAX.03-6380-8435
e-mail: mail@zenkaikyou.or.jp
URL: www.zenkaikyou.or.jp
twitter: @zenkaikyou
facebook: 全国牛乳流通改善協会

紙面から

- 優良事例発表会 (一) 四面
- 受賞店一覧 (二) 二面
- 開会の辞、主催者挨拶、審査経過の報告 (二) 二面
- 経営専門家の講評 (二) 二面
- 来賓の祝辞 (三) 四面
- 受賞者代表謝辞、閉会の辞 (四) 四面
- インフォメーション (四) 四面

当日は農林水産省、Jミルクはじめ関係諸団体、賛助会員、乳業メーカー、都道府県流通協代表、報道・業界紙などから出席があり、会場は満員となりました。発表会は、宮崎副会長の開会の辞、木納会長の主催者挨拶

で開会。各都道府県のマーク協から選出された審査対象の加盟店8店の代表者が取り組みを発表しました。発表をうけて、審査委員による厳正な審査を行い、最優秀賞 農林水産大臣賞、優秀賞 農林水産省畜産局長賞、優秀賞 一般社団法人Jミルク会長賞、優良賞 一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長賞の各賞を決定し、表彰式を行いました。最優秀賞 農林水産大臣賞には、埼玉県 株式会社小針乳業が選ばれました。そのほかの受賞結果は上記のとおりです。

表彰式に次いで、木納審査委員長からの審査経過報告、調査を行った経営専門家の先生方からの講評に続いて、農林水産省畜産局長 牛乳乳製品課 課長補佐の中村輝美氏、来賓の雪印メグミルク株式会社 取締役常務執行役員 稲葉聡氏から祝辞をいただきました。最後に、最優秀賞 農林水産大臣賞を受賞した小針乳業代表の小林正明さんが受賞者代表として謝辞を述べ、白羽副会長の閉会の辞で終了しました。

自然の恵みを楽しむ方へ
おいしい雪印メグミルク牛乳

低温脱気製法
低温でやさしく酸素を除去してから殺菌することで生乳本来の“おいしさ”を保つ技術です。

カルパワー
1日分のカルシウムと鉄分
栄養機能食品(鉄・葉酸)

ビタミンD 葉酸 ビタミンB12 低脂肪

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

宅配専用 雪印メグミルク 宅配フリーコール **0120-758-369** 9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)

商品の中身・成分に関するお問い合わせ <https://www.meg-snow.com/contact/t-inquiry/index.php>

開会の辞

全改協副会長

宮崎 貴浩氏



本日は全国からお越しいただき、ありがとうございます。当発表会の発表内容は、毎年、全国の牛乳販売店にとって大変参考になるもので、楽しみにしています。

多くの方々の前で発表されるということで緊張もあるとは思いますが、緊張も楽しんでいただき、素晴らしい発表を期待しておりますので、どうぞよろしくお祈りします。

主催者挨拶

一般社団法人全国牛乳流通改善協会 会長

木納 雅康氏



本日はご多用な折にもかかわらず、農林水産省、関係各団体、各メーカー、都道府県流改協の代表の皆さまのご出席を賜りまして厚く御礼を申し上げます。また、ご協力いただきました各マーク団体、そして各メーカーのご担当者には心から感謝申し上げます。

さて本年は、元日に能登半島地震が発生し、翌日にはその支援のための

航空機が痛ましい事故に遭うなど、大変な幕開けとなりました。この場を借りまして、犠牲になられた方々のご冥福と被災された方々のお見舞いを申し上げます。また全改協の加盟店でも被災されたお店があると伺っております。一日も早い通常業務の再開をお祈り申し上げます。

本日開催いたします一般社団法人全国牛乳流通改善協会の牛乳販売店優良事例発表会は、昭和62年に第一回を開催いたしました。その後、東日本大震災とコロナ禍で中止した年度がございましたが、今年で第35回を迎えることができました。本年度は8店に事例発表を行っていただくことになっております。皆様大変厳しい状況の中、工夫をこらし、また新しい視点で自分のお店を発展させ、また地域に貢献されております。日頃のご努力に対して心から敬意を表します。

さて「牛乳宅配」さらには視点を広げて酪農乳業という産業全体を見渡しますと、残念ながらたいへん厳しい状況であると言わざるを得ません。販売店、お客さまともに高齢化が進み減少の傾向は進んでおります。また乳価の改定による牛乳乳製品の値上げ、配達に不可欠なガソリン等諸経費や人件費の高騰、食品衛生法の改定や安全のためのアルコールチェックへの対応など、昭和のピークのころのおおらかさとは比べものにならない厳しい環境に皆様いらつしやいます。それを逆にうまく利用され、乗り切ろうとする意気込み、アイデアが、事前審査をしております

と皆様から伝わってきます。これは、今生き残りに対応しようとしている全国の加盟店の皆様にも、必ずや役に立つヒントになると確信いたします。

今は厳しい状況でございますが、一方でこの数年で、改めて「宅配」という業種がクローズアップされていいます。牛乳宅配にも、他業種からの参入も増えています。私たち牛乳宅配は「元祖宅配」であり、またお客様との最終接点である「ラストワンマイル」を担う業種です。誇りをもって日常の業務に向かつて参りましょう。

最後に本日ご参加いただいた皆さまに重ねて感謝を申し上げます。開会の挨拶といたします。ありがとうございました。

審査経過の報告

審査委員長

木納 雅康氏



受賞された皆さま、おめでとうございます。このたびの審査は、メーカーさまのご協力をいただき、各マーク団体から推薦された加盟店の事例について、10月に二次審査を行い、書類審査によって発表店8店を選出いたしました。この8店に対して10月中旬から11月にかけて、3名の経営専門

家の先生方が各店を訪問し現地調査を行い、その調査内容に基づいた二次審査を12月に開催しております。そして本日の発表会の最終審査によってこのような結果になりました。

いま私たちをとりまく環境は、少子高齢化による人口減少が続く中、都市部への人口集中など、社会的構造が変化しております。そして何よりもコロナ禍による生活様式の変化もあって宅配サービスへのニーズの高まりは著しいものがあります。私たち牛乳販売店事業においても、このニーズの変化の本質を正確に受け止め、既存のサービスを見直すことが必要な時期に来ているのではないのでしょうか。発表店の皆さまはコロナ禍であっても、地域との関わりを大切にし、お客様満足度を意識した経営努力や、独自の工夫をされている点が共通しています。

今年度も、他業界から新たに牛乳販売店に参入された事例や、一般的なお家庭への宅配に加えて企業や施設など広域的に取り組んでいる事例、などが紹介されました。

このあと経営専門家の先生方より各店の講評がございますが、発表された各店におかれましては、自店の経営内容を惜しみなくお話しいただいたことに改めて敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。ありがとうございました。

経営専門家の講評

中小企業診断士

窪田 靖生先生



現地調査でわかったものの、各店とも、限られた時間の中で発表できなかった点が多い。それらを追加点としてお話ししたい。

宮城県 株式会社TENPO計画 森永ミルクファーム



発表の様子 株式会社TENPO計画 森永ミルクファーム 高井秀樹氏

一般紙の地元面の企画紙面制作委員を務めており、自分の提案したい製品のPRを紙面で行っている。また、高齢者の見まもりサービス等をLINE、メールを活用して行っている。

発表にはなかったが、地域活動にも熱心で、もう一つの事業である新聞の業務という色は濃い。12年ほど宮城の中学生新聞の発行に携わっている。東日本大震災の被害状況の記事などはじめ、新聞の発行までの工程を中学生に見学させる等も行っている。

地域との交流として、仙台市の防犯協力会に参加している。そのほかりズムダンス連盟の理事などの地域活動を通じて、牛乳宅配業へのプラスにしようとしていて感じた。

新潟県 かわだ商事株式会社



発表の様子 株式会社かわだ商事 川田泰基氏

「お客さまは財産であり、従業員は宝である」という経営方針をそのまま実行しており、従業員が喜んで働いている。そして従業員が会社を盛り立てている。従業員みずから2023年度の経営目標を作成し、ともに実行しようとなったという。素晴らしい話である。また「顧客感動経営」として、すべての営業活動が、お客さまの感動に結びついている。この方針を続け、ますます発展してほしい。

また地域貢献活動にも熱心で、県のマーク協会が見まもり活動で県と協定を結んだところ、徘徊高齢者を保護し、警察に届けたこともある。また、温室効果ガス排出削減年間計画を県に提出するなど温暖化対策にも積極的に取り組んでいる。

中小企業診断士

小畑 秀之先生



調査を担当した3店ともとても個性が、ユニークであり、そのユニークな点を解説したい。これからは、今までの取り組みを少し疑ってかき、新しく「とんがっていく」ことが大事なのかな、と感じた。



発表会場の様子

栃木県 有限会社田中商店



様子の様子 田中商店 有限会社 田中俊光氏

デイサービス施設での物販会を接点に宅配につなげるという手法がユニークで、個人宅への訪問が難しい今の社会状況をうまく乗り切っていると感じた。さらに施設への物販会の開催というのは、施設間での競争も激しい中、施設の差別化にもつながり、施設入居者にとっても商品を買う楽しみがあり、施設、入居者、牛乳販売店の三者にメリットがある方法である。この方法は、個人宅への訪問が難しい現状において、法人等、集団、団体に「切り口」はないであろうか、ということを考えるきっかけになると思う。ヒントとして活用していただきたい。

埼玉県 株式会社小針乳業



様子の様子 株式会社 小針正明氏

「従来の牛乳販売店のあり方を変えたい」訪問調査に行った際の第一声がこれであった。運送業、通信業、通販に携わった経験から、「牛乳宅配」はこれでいいのだろうか、時代に取残されたくないか、という危機感を感じ、これを原動力にしていることがよく伝わってきた。牛乳販売店は「送料の請求」まとめ買い」な

ど、今や世の中の当たり前となっていくことに対応していないどころか、「品物のサービス」で対応するのが一般的であり、長年続いていて、それが本場に牛乳宅配が生き残れる道なのかと疑問を持った。これには私も強く共感を覚えた。考え直す大きなきっかけを与えてくれた。ほかにも様々な取り組みをされており、発表しきれなかったと思う。

神奈川県 小岩井牛乳 横浜ミルクセンター



様子の様子 牛乳センター 小岩井 小岩井悦克氏

熱いプレゼンでした。出身地である、元日に被災した石川県羽咋市への思いが発表の大半を占めており、詳しいお店の経営の取り組みの発表内容が少なくなりました。根ざした活動をされている。「北嶋克悦」でネット検索するとたくさんの記事等が出てくる。うまくマスクミヤメディアを利用して活用できるので、全国の加盟店も見習って活用できると思う。特に地域とのつながりを重視しており、訪問調査に行った際も自身が愛用する牛の着ぐるみや射的の道具を見せられ「この人は何屋さんなの？」というのが最初の印象だったほど、地域との関わりを取り組んでいる。

Face book等に載せた被災地の状況を見てほしいと発表で言っていたが、私も見ている。

中小企業診断士 石川明湖先生



三重県 有限会社草河乳業



様子の様子 草河乳業 有限会社 草河伸一氏

牛乳販売店共通の悩みであろう後継者問題を、違う業種で解決したということが特に印象に残った。本日の発表でも、5代目が思い悩み、4代目に相談し、商工会議所に相談したというくだりがあったが、自店の経営内容をjつ知っているところと連携を取って計画を作り、事業承継を進めたことが、いい道筋につながったのだと思う。

5代目にも取材をしたが、お父様の心配は取り越し苦労で、しっかりと後継者である。ぼくは牛乳屋だから」というのが訪問調査時の第一声であった。その発言のとおり、5代目の洋菓子店では「牛乳屋さんのシュークリームが一番人気だそうである。非常にいいかたちで事業承継をされたと思う。

大阪府 有限会社みるくらぶ

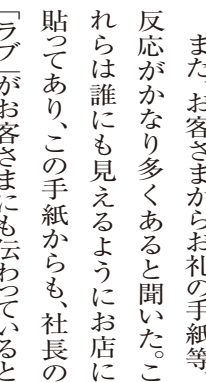


様子の様子 有限会社 みるくらぶ 長谷川泰吉氏

代表者は「人見知り」だと言っていたが、実は人の心をつかむのが上手な人物だと思う。店名「みるくらぶ」は「ミルククラブ」であり、「ラブ」が経営上にも非常に良く表れている。訪問調査時に一番感心したのは、従業員に仕事上でストレスを与えないという心がけであった。とても響いた事項であった。常に社長は「こんなに楽しい仕事はない」「こんなに感動する仕事はない」と言っていたが、これは従業員の満足度につながっていると思う。

また、お客さまからお礼の手紙等、反応がかなり多くあると聞いた。これらは誰にも見えるようにお店に貼つてあり、この手紙からも、社長の「ラブ」がお客さまにも伝わっていると感じた。

大阪府 株式会社BHC CORPORATION ビッグヘルスケア



様子の様子 株式会社BHC CORPORATION ビッグヘルスケア 小武内孝壽氏

社長と専務の二人三脚の経営がとても印象に残った。役割分担としては社長がデータ管理を行い、そのデータを元に会議が開かれ、専務が現場に落とす。その歯車がしっかりと噛み合っている。特にLINEを積極的に活用している。LINEは、スマホをほとんどの人が持つようになった現在、有効なコミュニケーションツールであり、これをしっかりと活用することによってお客様の心をつかんでいる。その中でさらにデータ管理を確実に行うことで、経営にスタッフ一丸で取り組んでいる点を評価したい。

来賓の祝辞

農林水産省 畜産局 牛乳製品課 課長補佐 中村輝美氏



本日受賞の荣誉に浴されました皆さまにお祝いを申し上げます。また本日ご参集の皆さま方におかれましては日頃よりの経営改善のご努力に對しまして深く敬意を表します。

本日の発表にもありましたように、牛乳販売店では牛乳の販売のみならず、地域の見守りや環境活動等に取り組まれる例が多いとお聴きしております。このような、販売以外の活動をされていることに対しては、私も改めて敬意を表します。

わが国の社会情勢の中の酪農の現状につきまして、簡単にご説明させていただきます。皆さまご存じのとおり、ロシアによるウクライナ侵攻や円安の進展により、わが国の社会情勢は多大な影響を受けております。酪農についても、飼料価格の高止まりなどの影響を大きく受け、厳しい現状にあると認識しております。このような状況の中、酪農乳業、牛乳販売店、また業界全体におきましては、若干の転機を迎えているところであり、たとえば昨年から4回にわたり、飲用向け、乳製品向けの乳価の引き上げが実施されました。また、需要については、令和5年度は訪日外国人の消費がコロナ禍前と比

較し10%上回る、過去最高となるなど、消費面では明るい動きが見えてきております。牛乳乳製品の需給については、製品価格上昇の影響が続いており、また構造的な脱脂粉乳需給の緩和傾向が続いております。

このような状況の中、引き続き、生・処・販の関係者の皆さまが丸となって様々な問題に立ち向かい、さらなる状況改善を目指すことが大事であると考えております。農水省におきましても、脱脂粉乳の在庫軽減対策の継続と国産チーズの競争力強化対策、輸出拡大支援策を打ち出しております。また、現在、企業や団体等が参加し取り組んでいる「牛乳でスマイルプロジェクト」の活動をしっかりと推進していきたいと考えております。

牛乳販売店の皆さまにおかれましては、これらの状況や国の施策のほかに、地域貢献活動等にご尽力いただいております。特に牛乳乳製品の消費拡大につきましては、販売店の皆さま方の取り組みは非常に重要なるものであると私も認識しております、この場を借りまして感謝申し上げます。乳製品の国際相場の上昇などにより生産コストが上昇し、また、物流コストにつきましても燃料等の高騰により増大している状況であり、牛乳販売店の皆さまにおかれましても大変厳しい状況であると思っております。

最後に本日ご列席の皆さま方の益々のご発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

雪印メグミルク株式会社 取締役 常務執行役員 稲葉聡氏



第35回牛乳販売店優良事例発表会において入賞されました皆さまに、心よりお祝い申し上げます。最初に、元日に発生いたしました能登半島地震にてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまにおかれましては、謹んでお見舞い申し上げます。日も早い復興をお祈りしております。

本日優良事例発表会にお招きいただき、厚く御礼申し上げます。農林水産省はじめ、酪農乳業行政に携わる関係者の皆さま、全改協本納会長はじめ役員、会員の皆さま、ならびに全改協を支える各マーク団体関係者の皆さまにおかれましては、平素より乳業各社に対し格別なご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

わが国の経済は、雇用、所得の環境が少しずつ改善するという状況で、ゆるやかな回復が続いております。酪農乳業界は、輸入飼料や燃料などの各種生産費が高騰しており、昨年から今年にかけて複数回の乳価改訂が行われ、各メーカーも同様に乳価改訂を実施しました。今後は需要の拡大、生乳生産回復に取り組む必要があると認識しています。

このような中、2022年から、農林水産省が「ミルク」とともに、さらなる

る牛乳乳製品の消費拡大に取り組みため、「牛乳でスマイルプロジェクト」を立ち上げています。多くの企業、自治体、関係団体等が本プロジェクトに参加しており、中でも全改協の会員、加盟店の皆さまも絶大な支援をされています。牛乳乳製品の消費拡大に連動し、我々乳業各社も、力を尽くし需要拡大、生乳生産の回復に取り組んでまいります。今後とも引き続き「支援のほど」とお申し込み申し上げます。

さて、昨年総会時に、木納会長は、「全改協の大きな使命は、お客さまと直接の接点を持つ全国の牛乳販売店が、地域密着のうえ、「元祖宅配」である牛乳の配達システムによって、消費者に、牛乳乳製品を通じて健康をお届けするという、長年培われてきた物流システムの維持に貢献し、牛乳乳製品の消費拡大に貢献することである」とおっしゃいました。本日入賞されました8店の皆さまの発表を聴かせていただき理解したことは、皆さんそれぞれ商売の歴史は違うものの、「地域への密着」・「お客さまや地域にとって、皆さまのお店が唯一無二の存在である」という点であり、これが非常に強く伝わってまいりました。それを築くために、経営者の皆さまが日頃ご努力されていること、そしてたとえばSNSの活用や、イベントへの参加、また施設、事業所等での販売等の色々な取り組み、さらには、その二つの取り組みをきっかけに多岐の取り組みを拡げていく、ほかにつなげていくという力が、リアルに、「ラストワンマイル」を担っている牛乳宅配の強みであり、時代が変化しても変わらぬ、普遍的な価値であると改めて

て認識いたしました。私どもも、乳業各社の強みを活かし、牛乳乳製品の価値を提供し続けるためには、やはり価値ある商品を産みだしていくことを続けながら、生・処・販が一体となり今後も貢献して参りたいと思っております。

最後に、一般社団法人全国牛乳流通改善協会ならびに酪農乳業界の益々のご発展、本日ご列席の皆さまのご繁栄、ご家族、従業員皆さまの御健勝、ご多幸を祈念いたします。

本日はまことにありがとうございました。



このたびはこのような発表の機会をいただきました。本当にありがとうございました。

全国に牛乳販売店は数多くありますが、私どもは今後も、世の中が変わっていく中で、お客さま、従業員に対して、色々なアイデアを形にして牛乳販売を展示させたと思っております。

本日は本当にありがとうございます。ごさいま

最後に、一般社団法人全国牛乳流通改善協会ならびに酪農乳業界の益々のご発展、本日ご列席の皆さまのご繁栄、ご家族、従業員皆さまの御健勝、ご多幸を祈念いたします。

本日はまことにありがとうございました。

本日、第35回牛乳販売店優良事例発表会にて入賞された加盟店の皆さま、誠におめでとうございます。新しい生活様式に変化した市場において、お客さまや地域社会に貢献し、牛乳乳製品の消費拡大に貢献する牛乳販売店の事例を全国から選び、その優良な事例を共有することで業界のレベルアップを目指すのが、われわれ全国牛乳流通改善協会の目的です。今回8名の発表者の皆さまはまさしくそのものです。改めて本日の発表者の皆さまにお礼と感謝を申し上げます。



最優秀賞 農林水産大臣賞受賞者の謝辞



本日、第35回牛乳販売店優良事例発表会にて入賞された加盟店の皆さま、誠におめでとうございます。新しい生活様式に変化した市場において、お客さまや地域社会に貢献し、牛乳乳製品の消費拡大に貢献する牛乳販売店の事例を全国から選び、その優良な事例を共有することで業界のレベルアップを目指すのが、われわれ全国牛乳流通改善協会の目的です。今回8名の発表者の皆さまはまさしくそのものです。改めて本日の発表者の皆さまにお礼と感謝を申し上げます。

市場環境の変化に伴い、われわれの業界も過渡期を迎えております。本日の発表者の皆さまには、明日から各地域のリーダーとなってこの業界を次世代につないでいただきたい。むかし、「牛乳屋さん」は日本の明日をお届けする」と言われていました。本日ご出席の皆さま全員で力を合わせて、もう一度この業界が日本の明日を、元気を発信しようではありませんか。

本日は、ご来賓、関係各団体の方々、各流改協の会長の皆さまにご出席いただき、ありがとうございます。

インフォメーション 全改協からのお知らせ

公益財団法人食品等流通合理化促進機構主催「第33回優良経営食料品小売店等表彰事業」の表彰式が開催されました

独自の経営努力によって立派な業績をあげている全国の中小の優良経営食料品小売店等を発掘し表彰する「優良経営食料品小売店等表彰事業」(主催(公財)食品等流通合理化促進機構、後援 農林水産省、日本経済新聞社、日本政策金融公庫)の表彰式が、2月28日(水)に東京都千代田区の学士会館で開催されました。

全改協からこの事業に推薦された、千葉県の株式会社STSさんが農林水産大臣官房長賞を、大阪府のNPO法人JSBデイルーサポート健康森永賞面池田店さんが(公財)食品等流通合理化促進機構会長賞を受賞される栄誉に輝きました。

なお全改協からこの事業に推薦された牛乳販売店が農林水産大臣官房長賞を受賞するのは初めてのことです。



農林水産大臣官房長賞を授与される株式会社STSさん



食品等流通合理化促進機構会長賞を授与される特定非営利活動法人JSBデイルーサポートさん



株式会社STSさん (前列向かって左から2人目)



特定非営利活動法人JSBデイルーサポートさん (前列向かって右から2人目)

令和6年度の総会開催のお知らせ

令和6年度の第47回通常総会は、令和6年6月7日(金)開催予定です。また、例年、総会で承認を受けた全改協の事業を各流改協、マーク協の皆さまにご説明する「地区別会議」を国内5地域で開催していましたが、令和6年度はオンラインでの開催とし、名称も「事業説明会」と変更することを予定しています。開催の詳細が決定いたしましたら改めてご連絡いたします。



骨と腸をサポート



加齢に伴い低下する

骨密度

を維持

大腸の

腸内環境

を改善

食事に含まれる

ミネラル

(カルシウム・鉄・マグネシウム)の吸収を促進

1/2日分のカルシウム*

鉄分

ビタミンD



100g

森永 カルガス ヨーグルト

機能性表示食品 機能性関与成分:ピフィズ菌BB536、マルチピオン酸

●届出番号: H1141 ●届出表示: 本品にはピフィズ菌BB536とマルチピオン酸が含まれます。ピフィズ菌BB536は大腸の腸内環境を改善し、腸の調子を整える機能、マルチピオン酸は食事に含まれるミネラル(カルシウム・鉄・マグネシウム)の吸収を促進する機能や、加齢に伴い低下する骨密度を維持する機能が報告されています。●食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。●本品は、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。●本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。